

基本情報



【年 齢】
32歳
【出身地】
東京都東久留米市
【転出元】
兵庫県宝塚市
【前 職】
建築設計業
【活動時期】
R6.5～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

茅野市出身の父を持ち、諏訪地域に訪れる機会が多くあり、諏訪地域の美しい風景やまち並みに幼少の頃から関心を持っていました。中でも諏訪市には諏訪大社本宮や片倉館などをはじめとした建築的魅力にもあふれるまちであると感じています。

「空き家の掘り起こしと利活用」というミッションではこれまで培った建築の専門的な能力が十分に活かせる点や、地域おこし協力隊として諏訪に住む方々に積極的に関わる機会を得られる点にメリットを感じ、応募に至りました。

今後の抱負・任期後の目標

○今後の抱負

諏訪地域には細い小路が入り組む独特のまちの風景や、風土に育まれた建てぐるみなどの独自の建築様式が今も残されています。

空き家の利活用を通して、まちの魅力を引き継いだエリアリノベーションが広がっていく機運をつくっていったらと考えています。

○任期後の目標

建築の歴史意匠、そして諏訪地域のアニミズム的な側面に深い関心があります。任期後には諏訪地域に根ざした設計事務所を開業することが目標です。

活動内容

●空き家の掘り起こし ーみなに伝える方法

諏訪市は約5軒に1軒が空き家であり、さらに年間30戸ずつ空き家が増加している傾向にあります。中でも特に空き家が密集する上諏訪駅周辺エリア(約700件)をメインターゲットとして掘り起こしを行います。

空き家オーナーと利活用希望者をつなげる「空き家マッチングサービス」などの制度や「空き家バンク」によって、空き家を利活用につなげる活動を行っています。



●空き家見学会・ワークショップ ーみなで考える方法

空き家見学会・まちあるき、空き家の利活用を考えるワークショップを定期的に開催し、空き家への関わりやマッチングのきっかけをつくります。

空き家見学会・まちあるきは月1回程度で不定期開催、ワークショップは中高生や市民を対象に空き家利活用についての意見を吸い上げ、実際の空き家に反映していくことで、まちの変化を自分事を感じてもらい取り組みを行います。



●空き家の利活用 ーみなでつくる方法

R7～R8年度にかけて、掘り起こした物件を対象に空き家のDIYイベントを開催します。地域おこし協力隊が常駐しながら参加者を募り、少しずつ改修していくことにより、地域に開けた空き家改修を行う計画です。

また、改修時～改修後にかけてチャレンジショップや、市や民間のイベントスペースとしても活用していくことで、市内の利活用希望者も併せて募っていくことを想定しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) tokei@city.suwa.lg.jp (代表)

kei-fujimori@city.suwa.lg.jp (個人)

(電話番号) 0266-52-4141 (内線267)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Facebook : <https://www.facebook.com/suwachiikiokoshi/>

Instagram : <https://www.instagram.com/suwachiikiokoshi/>



Facebook



Instagram